

まちと文化を再生する 女性経営者の「物語力」

荒れ果てた名庭の再生と売却、ミシュランも認める優良ホテルの創出……。目の覚めるような手腕で脚光を浴びるノブレスグループ代表・川井徳子氏。その理念の根底に、女性ならではの感性に裏打ちされた「物語力」がある。

ノブレスグループ代表
川井徳子さん



Profile

かわい・のりこ◎不動産業、運送業、観光業など5つの会社を束ねるノブレスグループ代表。立命館大学卒業。1997年に父の会社を継ぎ、日本庭園「何有荘」や「ホテルアジュール・奈良」をはじめ、ペットマンション、メディカルモールなど数多くの不良債権物件を甦らせた。「再生」をテーマに、疲弊した地方経済の活性化にも取り組んでいる。著書に「不動産は「物語力」で再生する」(東洋経済新報社)。



「とても壮大で、芸術的価値が高い庭園です。その真価を理解し、かつ潤沢な資金力を有する買い手を探すには、国内にとられず、グローバルマーケットに乗せるべきだと考えたのです。クリスティーズに日本の不動産が登場したのも、今回が初めてでしたね」
この何有荘への反響の高さから、世界市場における日本の庭園や建造物の価値を確信したという。
土地や建物に刻まれた「物語」をひもといて
「背景を理解して行ってこそ、開発も文化になる」という川井さんのリノベーションでは、土地や建物の本質的な個性が重視される。それにより、眠っていた歴史や固有の美が再び時を得て輝きはじめるのだ。これを川井さんは「物語力」と表現する。

「物語はナラティブ・ヒストリー。土地にも建物にも、みな歴史があり物語があるのです。当社の社屋を例にとっても、先代が事業を始めた土地に建てた自宅兼オフィスのすから、まさに会社と家族の物語で溢れています」
この1年、私は岩手県大槌町の震災復興支援に関わってきましたが、調べてみると大槌湾一帯にも、和鉄文化や豪傑伝説といった物語がちやんとありました。こうした地域の「物語力」を糸口に、大槌町の再生のお役に立てればと、心から願っているところです」
物語は文化でもある。そして文化は、人から人へと伝えていくものであり、家庭のなかで女性を中心に培われることも多い。経営でも社会的な活動でも、文化的な視点やアプローチとなると、やはり女性の強みのようだ。
「私の場合、奈良に生まれ育ったことも幸運だったと思います。ここでは日々の営みにも歴史が息づいていて、『物語力』に通じる感性が育まれる気がするからです」
美しい古都の佇まいと新しい建物がひとつに融合する歴史的空間の創造に向け、再生をテーマに掲げた川井さんの挑戦が続く。

不良債権物件を再生し ミシュラン掲載ホテルに

時代の狭間に埋もれた由緒ある邸宅や名園、倒産した名門ホテル、複雑な権利が絡まりあって売りに売れない不動産……。
貴重な文化的価値を秘めながらも、早晚忘れ去られ、荒れ果てていく運命の建造物や土地の再生に、真面目から挑み続けている女性がいる。奈良を拠点に、不動産業、運送業、観光業など5つの会社を束ねるノブレスグループの総帥、川井徳子さんだ。

不良債権物件や古い不動産を改装し、川井さんはこれまでに、ホテル、ペットマンション、メディカルモール、大型土産物店といった施設をいくつも作り上げてきた。このうち「ホテルアジュール・奈良」は、『ミシュランガイド京都 大阪 神戸 奈良2012』で2パビリオンの高評価を獲得。老舗旅館や国際級ホテルの間にあつて、大いに注目されることとなった。

「倒産したホテルを買い取って2000年にオープンしたのが、ホテルアジュール・奈良です。改装にあたっては、奈良という日本文化の源にあるホテルだということ

を強く意識しました。西洋式ホテルの利便性はそのままに、旅館の趣きも取り入れ、日本らしさ、奈良らしさを感じていただけるような心がけなのです。たつぷりと木を使い、小さな橋を館内に配したり、囲炉裏を設けたり。どこにでもあるホテルとは、一線を画す宿になったと思います」

いっぽう、川井さんが世界に視野を向け取り組んだのが、京都にある日本庭園「何有荘」の再生プロジェクトだ。

名庭園を立て直し 世界市場に価値を問う

何有荘は、近代を代表する庭師、七代目小川治兵衛(通称・植治)の手に成る屈指の名園である。明治から昭和にかけて、国内外の要人をもてなす社交の場としても活用されてきたが、近年ではその名声も、時の所有者のスキャンダルによって地に堕ちていった。

そして競売にかけられた何有荘を川井さんが落札。荒れた庭園を数年がかりで甦らせたのち、高級不動産のみを扱うクリスティーズ・グレート・エステートを通じて、オラクル社CEOラリー・エリソン氏に売却したのだ。



和魂洋才の趣きで魅力を放つ「ホテルアジュール・奈良」。川井氏の手により、団体旅行者向けの小さなホテルから個人客が好んで訪れる優良ホテルへと変貌を遂げた。

◎ホテルアジュール・奈良
☎ 0742-22-2577
http://worldheritage.co.jp/asyl/

希代の庭師・植治が作庭した京都の「何有荘」(旧稲畑勝太郎邸)。川井氏による再生で、地に堕ちた評価は見事に甦った。



大正時代の銀行を改装したというレストラン「きょうと和み館」。観光資源に恵まれた奈良や京都は宝石箱のようだと、川井氏。

「不動産は「物語力」で再生する」

川井氏が手がけた再生の実績と、波乱に富んだ半生、試練に満ちた会社経営の3つの側面から事例をひもとき、なぜ「物語力」が再生に有効なのかを解き明かす。

東洋経済新報社
2011年12月
定価 1575円
(税込)



ノブレスグループ
☎ 0742-22-1555
9:00~17:00
(土日祝・年末年始を除く)
http://www.noblesse-g.co.jp/